

1 全国からみた愛知県の工業

● 全国における愛知県工業の位置

愛知県の平成 29 年 6 月 1 日現在の製造業の事業所数(従業者 4 人以上)は 15,870 事業所で、全国(191,339 事業所)の 8.3%を占め、大阪府(15,990 事業所)に次いで全国第 2 位となっています。

また、その時点での愛知県の従業者数は 828,077 人で、全国(7,571,369 人)の 10.9%を占め、全国第 1 位となっています。

続いて、平成 28 年中の製造品出荷額等と付加価値額をみると、愛知県の製造品出荷額等は 44 兆 9090 億円で、全国(302 兆 1852 億円)の 14.9%を占め、全国第 1 位となっており、愛知県の付加価値額も 12 兆 9753 億円で、全国(97 兆 3416 億円)の 13.3%を占め、こちらも全国第 1 位となっています。

ここで、全国第 1 位である従業者数、製造品出荷額等及び付加価値額について、それぞれ全国第 2 位の都道府県とその規模を比較してみると、従業者数は第 2 位の大阪府(436,048 人)の 1.90 倍、製造品出荷額等は第 2 位の神奈川県(16 兆 2882 億円)の 2.76 倍、付加価値額は第 2 位の静岡県(5 兆 6822 億円)の 2.28 倍と、愛知県は従業者数、製造品出荷額等及び付加価値額とも他の都道府県を大きく引き離しています。(表 1)

表 1 全国における愛知県工業の位置 (従業者 4 人以上の事業所)

順位	事業所数			従業者数			製造品出荷額等			付加価値額		
	都道府県	(事業所)	構成比 (%)	都道府県	(人)	構成比 (%)	都道府県	(百万円)	構成比 (%)	都道府県	(百万円)	構成比 (%)
1	大阪	15,990	8.4	愛知	828,077	10.9	愛知	44,909,000	14.9	愛知	12,975,301	13.3
2	愛知	15,870	8.3	大阪	436,048	5.8	神奈川	16,288,163	5.4	静岡	5,682,219	5.8
3	埼玉	10,975	5.7	静岡	398,450	5.3	静岡	16,132,178	5.3	大阪	5,230,068	5.4
4	東京	10,789	5.6	埼玉	384,055	5.1	大阪	15,819,650	5.2	神奈川	4,897,348	5.0
5	静岡	9,299	4.9	兵庫	356,782	4.7	兵庫	15,105,350	5.0	兵庫	4,882,026	5.0
6	兵庫	7,996	4.2	神奈川	350,673	4.6	埼玉	12,682,801	4.2	埼玉	4,416,028	4.5
7	神奈川	7,697	4.0	茨城	262,878	3.5	千葉	11,401,976	3.8	茨城	3,655,663	3.8
8	岐阜	5,721	3.0	東京	252,315	3.3	茨城	11,208,758	3.7	東京	3,305,093	3.4
9	福岡	5,348	2.8	福岡	216,032	2.9	広島	9,941,466	3.3	広島	3,200,092	3.3
10	新潟	5,339	2.8	広島	215,192	2.8	三重	9,895,478	3.3	三重	3,083,823	3.2
全国		191,339	100.0		7,571,369	100.0		302,185,204	100.0		97,341,636	100.0

注) 事業所数、従業者数は平成 29 年 6 月 1 日現在、製造品出荷額等、付加価値額は平成 28 年中の数値である。

資料 経済産業省「工業統計調査」

● 最近の愛知県工業の推移

平成 20 年以後の愛知県の推移をみると、製造業事業所数(従業者 4 人以上)は平成 20 年 12 月末に 21,837 事業所であったのが、平成 29 年 6 月 1 日には 15,870 事業所まで減少していますが、その間は全国の事業所数も減少しており、全国シェアは 8.3%近辺で推移しています。

また、全国的に製造業従業者は減少傾向にあることから、愛知県の従業者数も、平成 20 年 12 月末の 857,315 人(全国シェア 10.2%)から平成 29 年 6 月 1 日には 828,077 人(同 10.2%)と、実人数は減少しているものの、その全国シェアは高まっています。

続いて、製造品出荷額等をみると、愛知県の製造品出荷額等は平成20年中の46兆4212億円(全国シェア13.8%)から、リーマンショック後の平成22年中は38兆2108億円(同13.2%)と金額、全国シェアともに減少しましたが、その後増加に転じ、平成28年中は44兆9090億円(同14.9%)となりました。

付加価値額はより如実に好不況を反映することから、愛知県の付加価値額も平成20年中の12兆4212億円(全国シェア12.0%)から、平成22年中には9兆9082億円(同10.9%)と大きく減少し、その後平成28年中には12兆9753億円(同13.3%)まで回復しました。(表2)

表2 平成20年以後の愛知県工業の推移(従業員4人以上の事業所)

順位	20事業所数			22事業所数			24事業所数			26事業所数			29事業所数		
	都道府県	(事業所)	構成比(%)	都道府県	(事業所)	構成比(%)	都道府県	(事業所)	構成比(%)	都道府県	(事業所)	構成比(%)	都道府県	(事業所)	構成比(%)
1	大阪	24,200	9.2	大阪	20,122	9.0	大阪	19,073	8.8	大阪	17,501	8.6	大阪	15,990	8.4
2	愛知	21,837	8.3	愛知	18,764	8.4	愛知	17,840	8.2	愛知	16,795	8.3	愛知	15,870	8.3
3	東京	19,287	7.3	東京	15,082	6.7	東京	14,040	6.5	東京	12,156	6.0	埼玉	10,975	5.7
4	埼玉	15,515	5.9	埼玉	12,876	5.7	埼玉	12,184	5.6	埼玉	11,614	5.7	東京	10,789	5.6
5	静岡	12,535	4.8	静岡	10,768	4.8	静岡	10,431	4.8	静岡	9,777	4.8	静岡	9,299	4.9
6	兵庫	11,147	4.2	兵庫	9,555	4.3	兵庫	9,294	4.3	兵庫	8,710	4.3	兵庫	7,996	4.2
7	神奈川	11,031	4.2	神奈川	9,157	4.1	神奈川	8,910	4.1	神奈川	8,140	4.0	神奈川	7,697	4.0
8	岐阜	7,699	2.9	岐阜	6,528	2.9	岐阜	6,401	3.0	岐阜	6,035	3.0	岐阜	5,721	3.0
9	福岡	6,970	2.6	福岡	6,172	2.8	福岡	5,956	2.8	福岡	5,599	2.8	福岡	5,348	2.8
10	茨城	6,765	2.6	茨城	5,934	2.6	茨城	5,818	2.7	新潟	5,564	2.7	新潟	5,339	2.8
全国		263,061	100.0		224,403	100.0		216,262	100.0		202,410	100.0		191,339	100.0

注)平成26年までは12月末日現在、平成29年は6月1日現在の数値である。資料 経済産業省「工業統計調査」

順位	20従業員数			22従業員数			24従業員数			26従業員数			29従業員数		
	都道府県	(人)	構成比(%)	都道府県	(人)	構成比(%)	都道府県	(人)	構成比(%)	都道府県	(人)	構成比(%)	都道府県	(人)	構成比(%)
1	愛知	857,315	10.2	愛知	790,778	10.3	愛知	769,395	10.4	愛知	795,496	10.7	愛知	828,077	10.9
2	大阪	526,790	6.3	大阪	477,484	6.2	大阪	455,018	6.1	大阪	443,634	6.0	大阪	436,048	5.8
3	静岡	446,577	5.3	静岡	409,030	5.3	静岡	393,687	5.3	静岡	386,924	5.2	静岡	398,450	5.3
4	埼玉	432,274	5.2	埼玉	393,413	5.1	埼玉	372,308	5.0	埼玉	379,238	5.1	埼玉	384,055	5.1
5	神奈川	425,078	5.1	神奈川	379,751	5.0	神奈川	367,168	4.9	兵庫	350,429	4.7	兵庫	356,782	4.7
6	兵庫	385,847	4.6	兵庫	359,236	4.7	兵庫	349,687	4.7	神奈川	349,732	4.7	神奈川	350,673	4.6
7	東京	362,825	4.3	東京	310,022	4.0	東京	292,976	3.9	東京	269,815	3.6	茨城	262,878	3.5
8	茨城	286,969	3.4	茨城	267,549	3.5	茨城	266,106	3.6	茨城	259,595	3.5	東京	252,315	3.3
9	千葉	228,369	2.7	福岡	218,092	2.8	福岡	213,005	2.9	福岡	209,864	2.8	福岡	216,032	2.9
10	福岡	227,758	2.7	広島	206,653	2.7	広島	204,366	2.8	広島	209,515	2.8	広島	215,192	2.8
全国		8,364,607	100.0		7,663,847	100.0		7,425,339	100.0		7,403,269	100.0		7,571,369	100.0

注)平成26年までは12月末日現在、平成29年は6月1日現在の数値である。資料 経済産業省「工業統計調査」

順位	20製造品出荷額等			22製造品出荷額等			24製造品出荷額等			26製造品出荷額等			28製造品出荷額等		
	都道府県	(百万円)	構成比(%)	都道府県	(百万円)	構成比(%)	都道府県	(百万円)	構成比(%)	都道府県	(百万円)	構成比(%)	都道府県	(百万円)	構成比(%)
1	愛知	46,421,228	13.8	愛知	38,210,826	13.2	愛知	40,033,226	13.9	愛知	43,831,329	14.4	愛知	44,909,000	14.9
2	神奈川	19,497,483	5.8	神奈川	17,246,683	6.0	神奈川	17,461,302	6.0	神奈川	17,721,051	5.8	神奈川	16,288,163	5.4
3	静岡	19,177,718	5.7	静岡	15,793,109	5.5	大阪	16,022,741	5.5	大阪	16,529,165	5.4	静岡	16,132,178	5.3
4	大阪	18,158,008	5.4	大阪	15,713,108	5.4	静岡	15,707,724	5.4	静岡	16,050,724	5.3	大阪	15,819,650	5.2
5	兵庫	16,512,792	4.9	兵庫	14,183,783	4.9	兵庫	14,347,022	5.0	兵庫	14,888,356	4.9	兵庫	15,105,350	5.0
6	千葉	15,463,735	4.6	埼玉	12,853,155	4.4	千葉	12,388,483	4.3	千葉	13,874,330	4.5	埼玉	12,682,801	4.2
7	埼玉	14,657,670	4.4	千葉	12,380,529	4.3	埼玉	12,139,338	4.2	埼玉	12,390,803	4.1	千葉	11,401,976	3.8
8	茨城	12,310,244	3.7	茨城	10,845,754	3.8	茨城	11,097,744	3.8	茨城	11,408,497	3.7	茨城	11,208,758	3.7
9	三重	11,745,058	3.5	三重	9,764,734	3.4	三重	10,136,969	3.5	三重	10,542,710	3.5	広島	9,941,466	3.3
10	広島	10,293,547	3.1	広島	8,732,482	3.0	広島	8,342,810	2.9	広島	9,568,452	3.1	三重	9,895,478	3.3
全国		335,578,825	100.0		289,107,683	100.0		288,727,639	100.0		305,139,989	100.0		302,185,204	100.0

資料 経済産業省「工業統計調査」

順位	20付加価値額			22付加価値額			24付加価値額			26付加価値額			28付加価値額		
	都道府県	(百万円)	構成比(%)	都道府県	(百万円)	構成比(%)	都道府県	(百万円)	構成比(%)	都道府県	(百万円)	構成比(%)	都道府県	(百万円)	構成比(%)
1	愛知	12,121,763	12.0	愛知	9,908,200	10.9	愛知	11,938,481	13.5	愛知	12,864,570	13.9	愛知	12,975,301	13.3
2	静岡	6,347,957	6.3	静岡	5,410,304	6.0	静岡	5,463,759	6.2	静岡	5,526,181	6.0	静岡	5,682,219	5.8
3	大阪	6,292,805	6.2	大阪	5,377,213	5.9	大阪	5,136,675	5.8	大阪	5,236,041	5.7	大阪	5,230,068	5.4
4	神奈川	6,242,296	6.2	神奈川	5,171,227	5.7	神奈川	4,870,438	5.5	神奈川	4,682,857	5.1	神奈川	4,897,348	5.0
5	兵庫	5,313,275	5.2	兵庫	4,667,460	5.1	兵庫	4,351,897	4.9	兵庫	4,674,608	5.1	兵庫	4,882,026	5.0
6	埼玉	4,816,801	4.8	埼玉	4,336,068	4.8	埼玉	4,123,273	4.7	埼玉	4,138,388	4.5	埼玉	4,416,028	4.5
7	東京	3,794,529	3.7	茨城	3,421,228	3.8	茨城	3,483,711	3.9	茨城	3,494,325	3.8	茨城	3,655,663	3.8
8	茨城	3,611,894	3.6	東京	3,135,556	3.5	東京	3,328,323	3.8	東京	3,193,174	3.5	東京	3,305,093	3.4
9	千葉	3,426,080	3.4	千葉	3,130,505	3.5	三重	2,755,646	3.1	三重	2,987,407	3.2	広島	3,200,092	3.3
10	広島	2,899,026	2.9	三重	2,907,706	3.2	千葉	2,534,041	2.9	群馬	2,934,156	3.2	三重	3,083,823	3.2
全国		101,304,661	100.0		90,667,210	100.0		88,394,666	100.0		92,288,871	100.0		97,341,636	100.0

資料 経済産業省「工業統計調査」

● 全国と比較した愛知県の製造品出荷額等の推移

ここで製造品出荷額等をもう少し長期でその推移を概観してみると、愛知県が初めて製造品出荷額等で全国第1位となったのは昭和52年でした。この年に前年の全国第3位から神奈川県、大阪府を抜いて以来、平成28年まで40年連続で製造品出荷額等全国第1位を維持しています(図1)。

この間の全国及び上位5都道府県の製造品出荷額等の推移をグラフからみると、愛知県は「バブル景気」と呼ばれる好況期に神奈川県、大阪府と徐々に差を広げ、この好景気のピークの平成3年には、愛知県の製造品出荷額等は38兆7590億円と、全国(340兆8346億円)の11.4%を占めるに至りました。

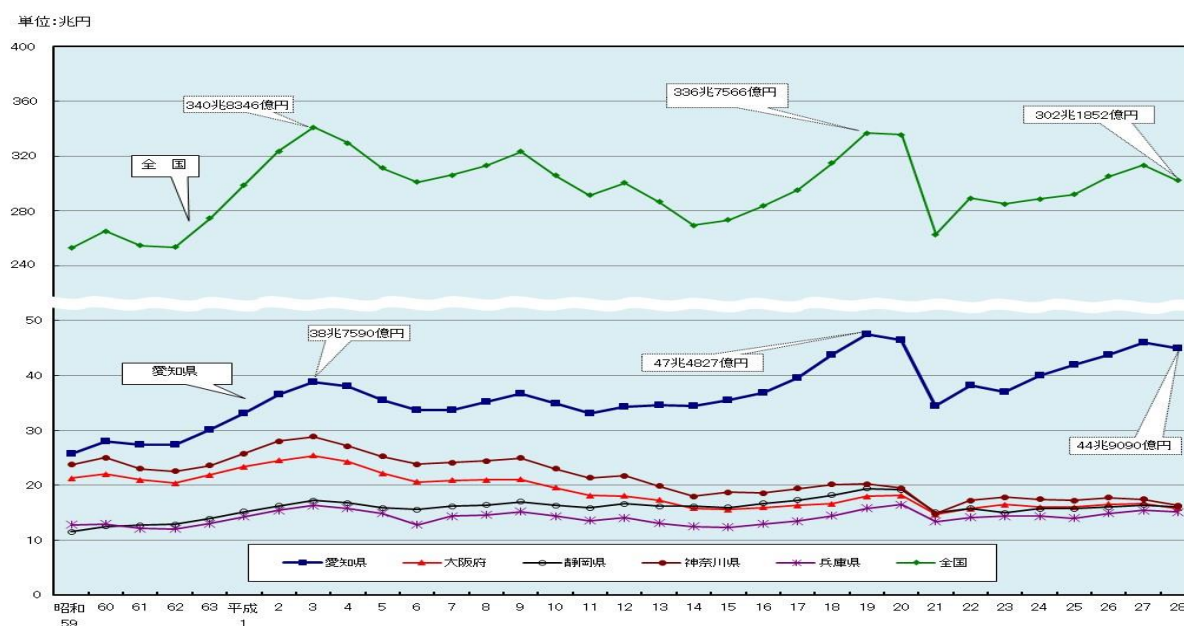
続くバブル崩壊後の不況期には、都市型の都道府県を中心に、工業事業所の国内移転や、更には工業事業所の海外移転(いわゆる「産業空洞化」現象)が円高期を中心に増加したのに対し、愛知県では工業事業所が比較的県内に存続し、このため景気が回復した平成19年には、愛知県の製造品出荷額等は47兆4827億円と、平成3年を大きく上回り、全国(336兆7566億円)の14.1%にまで高まったのに対し、神奈川県、大阪府はこの間も減少傾向を続け、この段階で現在のよう

な、愛知県が他の都道府県を製造品出荷額等で大きく上回る姿は確立しました。その後、リーマンショックによる不況期では、輸出型工業の多い愛知県は、全国平均以上の割合で製造品出荷額等が減少しましたが、その後大きく盛り返し、平成28年現在の愛知県の製造品出荷額等は44兆9090億円と、平成19年のピークに迫り、全国シェアも14.9%に至っています。(図2)

その後、リーマンショックによる不況期では、輸出型工業の多い愛知県は、全国平均以上の割合で製造品出荷額等が減少しましたが、その後大きく盛り返し、平成28年現在の愛知県の製造品出荷額等は44兆9090億円と、平成19年のピークに迫り、全国シェアも14.9%に至っています。

(図2)

図2 全国及び上位5都道府県の製造品出荷額等の推移(昭和59~平成28年)



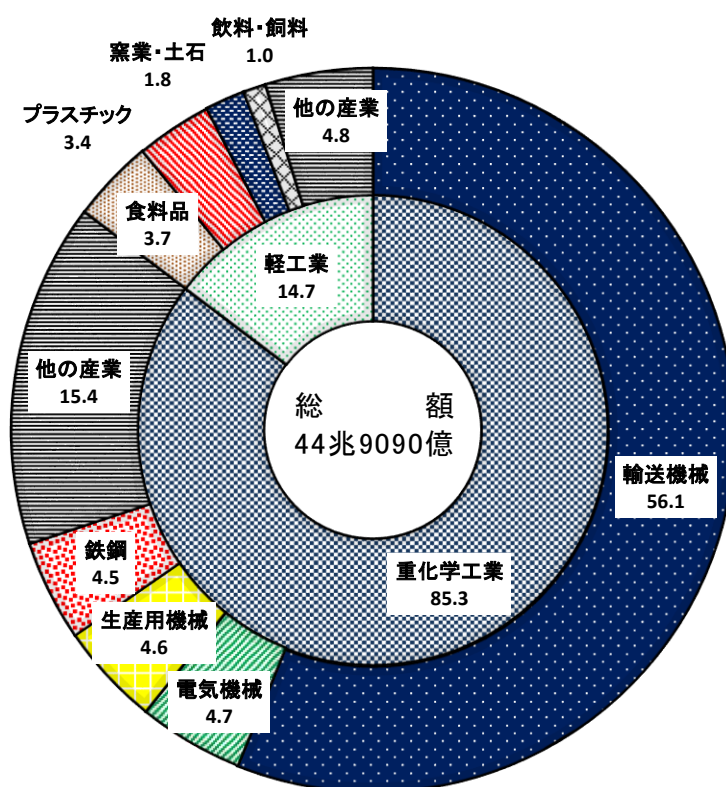
(注) 数値・・・平成23年、平成27年は、総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」。その他の年は、経済産業省「工業統計確報」。

2 愛知県の工業の構造

● 業種別にみた愛知県工業の推移

前章でみた愛知県の工業の構造を分析するため、平成 28 年中の愛知県の製造品出荷額等を主要業種別にみると、総額（44 兆 9090 億円）のうち輸送機械（25 兆 2025 億円）が 56.1%と過半を占めています。（図 3）

図 3 主要産業別製造品出荷額等の構成比（平成 28 年）



平成 20 年には輸送機械工業の構成比は 50.4%であったので、この間に構成比が 5.7 ポイント増加していますが、一律に増加しているわけではなく、リーマンショック後の平成 21 年には一旦 48.4%に低下し、その後増減を繰り返しながらも、経済の回復に合わせて輸送機械の構成比が徐々に高まっていく状況がみられるとともに、愛知県の製造品出荷額等の過半を占める輸送機械が製造業全体を牽引し、輸送機械の出荷額等の増加により、愛知県の製造品出荷額等全体が高まっていく様子がみてとれます。（表 3）

表3 主要業種別製造品出荷額等及びその構成比の推移

(単位：億円、%)

業種	年次	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
総	数	464,212 (100.0)	344,313 (100.0)	382,108 (100.0)	370,156 (100.0)	400,332 (100.0)	420,018 (100.0)	438,313 (100.0)	460,483 (100.0)	449,090 (100.0)
重化学工業		390,036 (84.0)	280,794 (81.6)	317,371 (83.1)	306,501 (82.8)	336,141 (84.0)	356,834 (85.0)	373,658 (85.2)	393,291 (85.4)	383,289 (85.3)
鉄鋼		32,822 (7.1)	20,443 (5.9)	24,725 (6.5)	25,497 (6.9)	25,084 (6.3)	24,372 (5.8)	25,568 (5.8)	23,550 (5.1)	20,395 (4.5)
金属製品		15,467 (3.3)	11,522 (3.3)	11,556 (3.0)	11,514 (3.1)	13,360 (3.3)	13,316 (3.2)	14,138 (3.2)	14,374 (3.1)	14,991 (3.3)
生産用機械		19,339 (4.2)	11,367 (3.3)	12,229 (3.2)	12,943 (3.5)	14,903 (3.7)	15,341 (3.7)	17,812 (4.1)	19,775 (4.3)	20,832 (4.6)
電気機械		17,053 (3.7)	12,911 (3.7)	14,907 (3.9)	16,607 (4.5)	17,449 (4.4)	18,948 (4.5)	21,451 (4.9)	21,967 (4.8)	21,008 (4.7)
輸送機械		233,883 (50.4)	166,638 (48.4)	193,792 (50.7)	179,745 (48.6)	214,869 (53.7)	230,913 (55.0)	235,089 (53.6)	254,885 (55.4)	252,025 (56.1)
その他重化学工業		71,472 (15.4)	57,913 (16.8)	60,162 (15.7)	60,195 (16.3)	50,476 (12.6)	53,944 (12.8)	59,600 (13.6)	58,740 (12.8)	54,038 (12.0)
軽工業		74,176 (16.0)	63,519 (18.4)	64,737 (16.9)	63,656 (17.2)	64,191 (16.0)	63,185 (15.0)	64,655 (14.8)	67,192 (14.6)	65,801 (14.7)
食料品		16,530 (3.6)	16,414 (4.8)	15,656 (4.1)	16,246 (4.4)	15,755 (3.9)	15,468 (3.7)	16,048 (3.7)	17,001 (3.7)	16,407 (3.7)
繊維		5,366 (1.2)	4,103 (1.2)	4,133 (1.1)	4,590 (1.2)	4,563 (1.1)	4,084 (1.0)	4,224 (1.0)	4,404 (1.0)	3,671 (0.8)
プラスチック		17,751 (3.8)	14,259 (4.1)	15,504 (4.1)	13,881 (3.8)	14,563 (3.6)	14,128 (3.4)	14,520 (3.3)	14,909 (3.2)	15,384 (3.4)
窯業・土石		8,384 (1.8)	6,828 (2.0)	6,858 (1.8)	7,417 (2.0)	6,766 (1.7)	7,572 (1.8)	7,614 (1.7)	7,428 (1.6)	7,961 (1.8)
その他軽工業		26,145 (5.6)	21,915 (6.4)	22,586 (5.9)	21,522 (5.8)	22,544 (5.6)	21,933 (5.2)	22,249 (5.1)	23,450 (5.1)	22,378 (5.0)

資料 総務省・経済産業省「経済センサス活動調査」(平成23・27年)、経済産業省「工業統計調査」(その他の年)

● 特化係数からみた愛知県工業の特色

こうした愛知県の工業の特徴を更に分析するため、平成28年の愛知県の製造品出荷額等の産業分類別特化係数をみると、輸送機械が2.61と極めて高い値を示しており、次いで業務用機械が1.06とかろうじて全国平均を超えています。

実額では愛知県の機械類や鉄鋼等は高い出荷額等を示していますが、特化係数からみると、「自動車産業」を中心とする輸送機械が大きく突出しており、この「自動車産業」を中心とした製造業の隆盛が、愛知県の最大の特色となっています。(図4、表4)

図4 愛知県の製造品出荷額等の産業分類特化係数（全国=1.00）

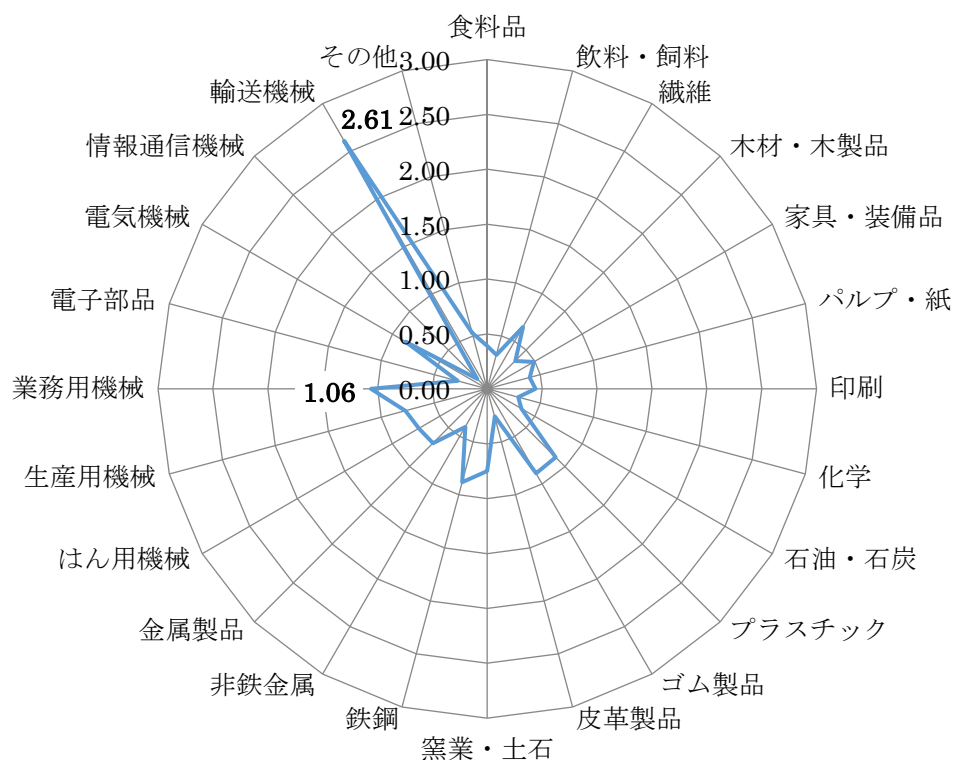


表4 全国及び愛知県の製造品出荷額等の産業構成比（平成28年）

(単位：百万円)

産業中分類	全国		愛知県			
	製造品出荷額等	構成比 (%)	製造品出荷額等	構成比 (%)	全国シェア (%)	特化係数
総数	302,185,204	100.0	44,909,000	100.0	14.9	
食料品	28,426,447	9.4	1,640,673	3.7	5.8	0.39
飲料・飼料	9,773,607	3.2	458,512	1.0	4.7	0.32
繊維	3,814,854	1.3	367,140	0.8	9.6	0.65
木材・木製品	2,656,165	0.9	143,257	0.3	5.4	0.36
家具・装備品	1,964,964	0.7	142,644	0.3	7.3	0.49
パルプ・紙	7,273,125	2.4	428,143	1.0	5.9	0.40
印刷	5,107,389	1.7	332,872	0.7	6.5	0.44
化学	27,249,576	9.0	1,191,040	2.7	4.4	0.29
石油・石炭	11,580,381	3.8	625,682	1.4	5.4	0.36
プラスチック	11,764,478	3.9	1,538,420	3.4	13.1	0.88
ゴム製品	3,113,143	1.0	413,972	0.9	13.3	0.89
皮革製品	346,328	0.1	13,577	0.0	3.9	0.26
窯業・土石	7,137,322	2.4	796,061	1.8	11.2	0.75
鉄鋼	15,669,288	5.2	2,039,542	4.5	13.0	0.88
非鉄金属	8,889,207	2.9	529,249	1.2	6.0	0.40
金属製品	14,398,614	4.8	1,499,120	3.3	10.4	0.70
はん用機械	11,124,756	3.7	1,195,279	2.7	10.7	0.72
生産用機械	18,106,818	6.0	2,083,169	4.6	11.5	0.77
業務用機械	7,129,504	2.4	1,123,873	2.5	15.8	1.06
電子部品	14,531,555	4.8	609,715	1.4	4.2	0.28
電気機械	16,388,349	5.4	2,100,789	4.7	12.8	0.86
情報通信機械	6,754,917	2.2	128,985	0.3	1.9	0.13
輸送機械	65,140,850	21.6	25,202,489	56.1	38.8	2.61
その他	3,843,568	1.3	304,797	0.7	7.9	0.53

資料 経済産業省「工業統計調査」

● 愛知県の輸送機械製造の推移

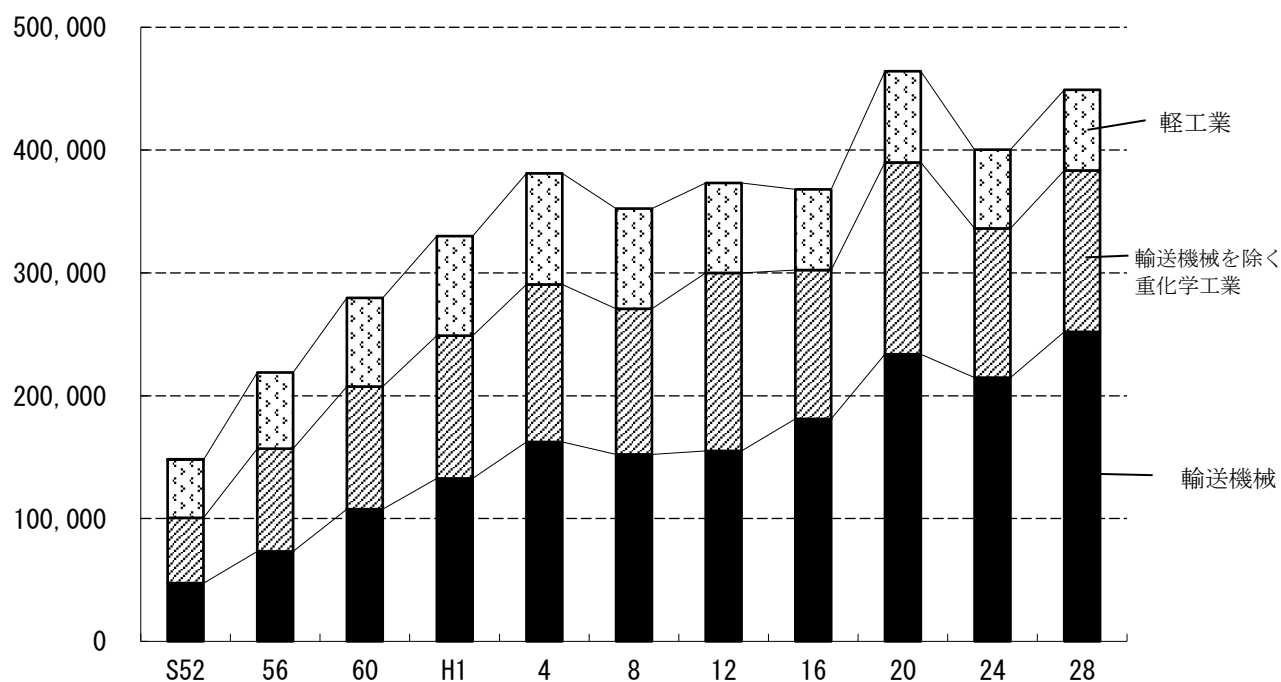
次に愛知県の輸送機械に絞って、その推移をもう少し長期のスパンで見えていくと、愛知県が初めて製造品出荷額等全国第1位になった昭和52年には、輸送機器の製造品出荷額等は4兆7332億円で総額(14兆7939億円)の32.0%を占め、軽工業(4兆7233億円)とほぼ同額でしたが、バブル経済直後の平成4年には16兆2310億円(構成比42.6%)にまで増加し、その後、景気低迷期にも出荷額等は大きく低下することなく、平成20年には23兆3883億円(構成比50.4%)に至りました。

その後、リーマンショックにより輸送機械の出荷額等も低下しましたが、やがて回復し、平成28年には、製造品出荷額等全体では平成20年の状況を下回っているものの、輸送機械は25兆2025億円(構成比56.1%)と、金額・構成比ともにリーマンショック前の水準を上回っています。

この間、軽工業はバブル経済直後の平成4年からは製造品出荷額等は減少傾向にあり、輸送機械を除く重工業もほぼ同程度で推移していることから、愛知県の製造業における輸送機械の比重はますます高まっており、前章で見た事業所の国内移転や海外移転が、愛知県では他の都道府県ほど進展していないという推論は、「自動車産業」を中心とした輸送機械製造の分野において顕著であると考えられます。

その理由としては、「自動車産業」自体が海外競争力の高い分野であることや、もともと愛知県は「自動車産業」のすそ野が広く、自動車メーカーが必要とする県内の部品等の供給体制が完成していたこと等が挙げられると思いますが、こうした、質量ともに充実した輸送機械製造事業所の存在が、愛知県の輸送機器製造の隆盛を導き、愛知県の製造業全体を支える構図を作り出しています。(表3、図5)

図5 愛知県の部門別製造品出荷額等の推移



資料 経済産業省「工業統計調査」

● 品目別にみた愛知県工業の特色

次に、平成 28 年の品目別の製造品出荷額等を見てみると、製造品出荷額等日本一を反映して、全国シェアが全国第 1 位の品目は数多くありますが、その主要なものをみていくと、まず輸送機械関連では、普通自動車（3 兆 8984 億円）が全国シェア 36.7%、シャシー部品・車体部品（2 兆 2803 億円）が全国シェア 38.3%、カーエアコン（3979 億円）が全国シェア 67.7%等、出荷額等も全国シェアも極めて高い品目が数多くあります。

そのほかの品目では、輸送機械関連ほど出荷額等は多くないものの、そ毛洋服地（112 億円）が全国シェア 38.6%、うわ薬かわら・塩焼かわら（229 億円）が全国シェア 76.7%、衛生陶器（394 億円）が全国シェア 54.6%、がい子・がい管（199 億円）が全国シェア 55.0%等、愛知県の伝統的な産業である繊維産業や窯業の品目も多く入っています。

これらの伝統産業は、現在では出荷額等は多くはないものの、近代に木綿産業が盛んであったこの地域から、戦前は繊維産業が愛知県の製造業を支え、織機メーカーから自動車産業が成長していった過去まで考え合わせると、伝統産業から新たな産業が成長する軌跡は連綿と続いています。

表 5 愛知県が製造品出荷額等全国一となっている主な工業品目（平成 28 年）

工業品目	製造品出荷額等(百万円)		全国シェア (%)
	全 国	愛 知 県	
野菜缶詰(瓶詰・つぼ詰を含む)	37,227	5,002	13.4
菓子パン(イーストドーナッツを含む)	992,416	112,458	11.3
洋生菓子	793,738	82,835	10.4
あめ菓子	169,628	22,948	13.5
そ毛洋服地	29,044	11,224	38.6
ナイロン漁網	7,174	3,018	42.1
木製ベッド	17,065	3,941	23.1
強化ガラス	107,782	42,345	39.3
うわ薬かわら、塩焼かわら	29,842	22,893	76.7
衛生陶器(附属品を含む)	72,249	39,424	54.6
がい子、がい管	36,276	19,943	55.0
うわ薬	11,584	5,967	51.5
ガスこんろ	115,477	64,451	55.8
ガス湯沸器	157,478	74,178	47.1
リベット	36,915	14,036	38.0
工業用マシン	42,364	10,086	23.8
電動工具	302,962	245,143	80.9
その他のロボット	276,499	65,645	23.7
パチンコ、スロットマシン	831,652	349,469	42.0
普通乗用車(気筒容量2000mlを超えるもの)(シャシーを含む)	10,613,981	3,898,419	36.7
自動車用ガソリン機関(ガソリンエンジン)	1,136,064	582,554	51.3
自動車用内燃機関の部分品・取付具・附属品	3,843,948	1,033,003	26.9
駆動・伝導・操縦装置部品	6,387,774	2,280,330	35.7
シャシー部品、車体部品	3,759,526	1,438,482	38.3
カーエアコン	587,734	397,867	67.7
カーヒータ	11,396	4,868	42.7
その他の自動車部品(二輪自動車部品を含む)	6,529,313	3,429,258	52.5
航空機の修理・オーバーホール	98,765	53,003	53.7
その他の航空機部分品・補助装置	849,694	421,612	49.6
眼鏡レンズ(コンタクトレンズを含む)	51,179	14,195	27.7

資料 経済産業省「工業統計調査」

一方で、「自動車産業」に続く先端的な産業も成長してきており、まず「航空機産業」では、航空機の修理・オーバーホール（530億円）が全国シェア53.7%、その他の航空機部分品・補助装置（229億円）が全国シェア49.6%で、いずれも全国第1位であるなど、愛知県は「航空機産業」の一大中心地となっています。

また、産業用ロボットの製造においても、愛知県は数値制御ロボット（293億円）が山梨県、静岡県に次いで全国第3位、その他のロボット（656億円）が全国シェア23.7%で全国第1位、ロボット、同装置の部分品・取付具・附属品（362億円）が福岡県に次いで全国第2位であるなど、愛知県は全国有数の産業用ロボット生産県となっています。（表5）

● 業種別・品目別にみた愛知県工業の今後の課題

これまでみてきたとおり、愛知県は「自動車産業」の一大中心地として、全国一の工業県の地位を確立してきましたが、「自動車産業」は現在、電気自動車（EV）や自動運転車等への転換といった大きな技術革新の渦中にあります。

愛知県において、「自動車産業」に代替できる業種は今後も考えられないことから、自動運転の実証実験に積極的に協力するなど、技術革新の波を乗り越え、「自動車産業」を今後も維持・発展させていくことが、今後の最も重要な課題となります。

その上で、愛知県の製造業のすそ野を拓げるためにも「航空機産業」や「ロボット産業」等の先端産業を育成していくことが必要です。

愛知県では、現在、間近に迫る国産航空機の開発を支援するとともに、「ロボット産業」の成長に向けて、2020年には「ワールドロボットサミット」を愛知県国際展示場で開催するなど、「自動車産業」に続く先端産業の育成に取り組んでいます。

3 地域別・市町村別にみた愛知県の工業

● 地域別にみた愛知県工業の特徴

次に愛知県の工業を尾張、西三河、東三河の3地域別にみることにより、その特徴をみていくと、愛知県内の事業所（15,870事業所）の65%が尾張に所在しているのに対し、従業者数をみると尾張と西三河がともに4割台となり、更に製造品出荷額等では、西三河が約56%と尾張を大きく逆転しています。

一般に都市部では第3次産業の構成比が高く、尾張も同様の傾向にあると推定されるのに対し、西三河は製造業従業者の割合が高く、また規模の大きな事業所が多く、その生産性もかなり高いため、製造品出荷額等は人口規模と比較してかなり高い水準にあります。

また、東三河は人口規模と同様に、事業所数、従業者数、製造品出荷額等とも県内総数の約1割を占めています。（表6）

表6 地域別 事業所数、従業者数及び製造品出荷額等

地域	項目		事業所数（事業所）		従業者数（人）		製造品出荷額等（億円）		＜参考＞推計人口（人）	
	29.6.1現在	構成比	29.6.1現在	構成比	28年中	構成比	29.6.1現在	構成比		
総数	15,870	(100.0)	828,077	(100.0)	449,090	(100.0)	7,521,034	(100.0)		
尾張	10,316	(65.0)	390,179	(47.1)	154,343	(34.4)	5,156,959	(68.6)		
西三河	3,817	(24.1)	350,502	(42.3)	251,056	(55.9)	1,610,244	(21.4)		
東三河	1,737	(10.9)	87,396	(10.6)	43,690	(9.7)	753,831	(10.0)		

資料 経済産業省「工業統計調査」

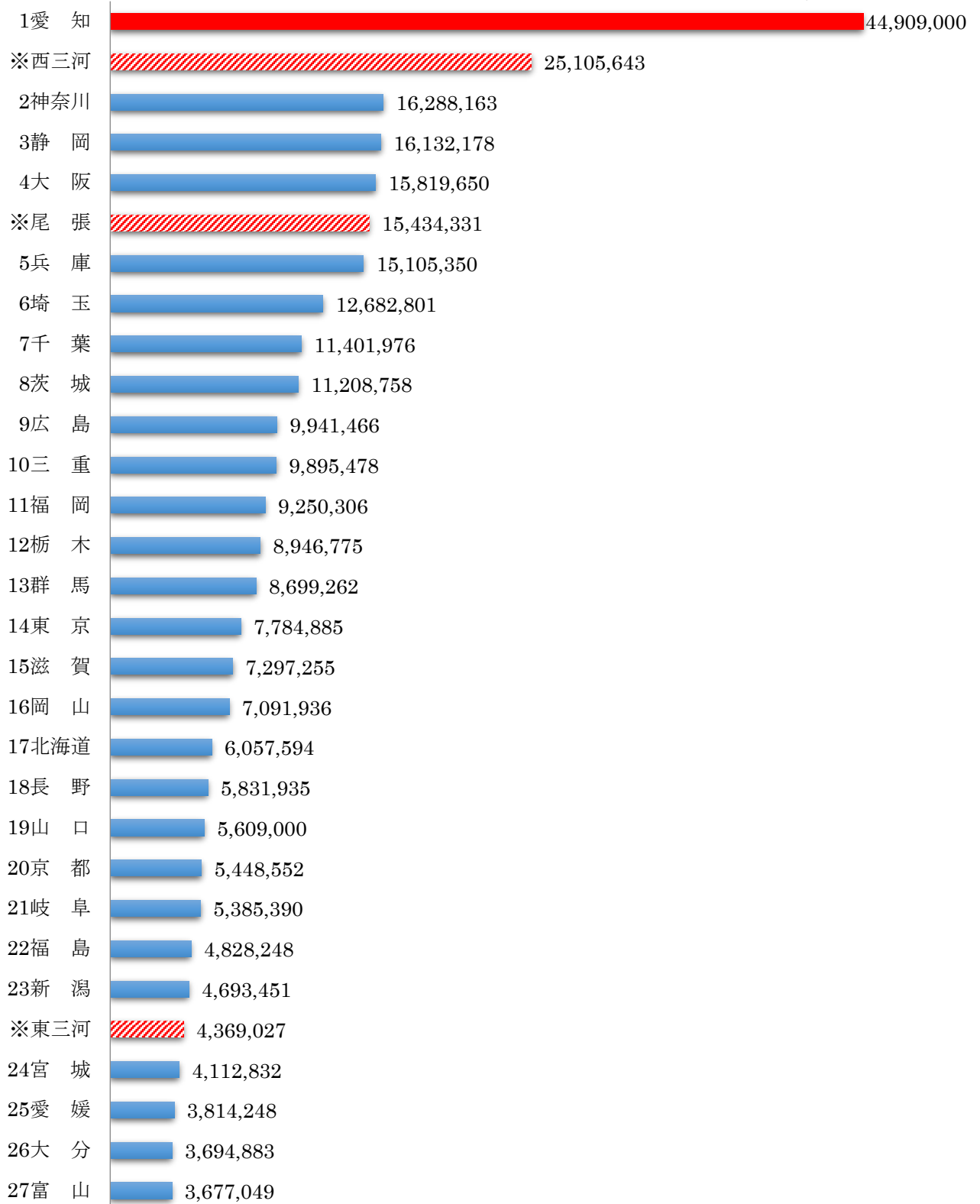
次に、3地域を全国と比較してみると、西三河は全国第2位の工業県である神奈川県の1.5倍以上の製造品出荷額等となっており、その人口規模から比較しても全国的にみて極めて工業生産の集積した地域となっています。

また、西三河が突出しているために目立たないものの、尾張の製造品出荷額等も全国第5位の兵庫県を上回っており、トップクラスの工業県と同等の製造品出荷額等を誇っています。

東三河の製造品出荷額等は全国中規模の都道府県と同規模であり、人口が3倍以上の宮城県を上回っていることからみても、人口規模と比較して高い工業生産を示しているといえます。（図6）

図6 愛知県（地域別）における製造品出荷額等の位置

単位：百万円



資料 経済産業省「工業統計調査」

● 地域別にみた愛知県の製造品出荷額等の推移

3地域の製造品出荷額等について、平成20年から28年までの推移をみると、平成20年の製造品出荷額等（46兆4212億円）のうち尾張が37.1%、西三河が51.1%、東三河が11.7%を占めていました。しかし、翌21年にはリーマンショックにより、製造品出荷額等は34兆4313億円まで低下し、地域別の構成比も尾張が39.2%、西三河が50.2%、東三河が10.5%と、一旦は西三河、東三河の構成比が低下しました。

その後、リーマンショックからの景気回復とともに、尾張の構成比が低下するとともに、西三河の構成比が上昇するという傾向が続き、平成28年の製造品出荷額等は44兆9090億円とかなり回復した状況では、地域別の構成比は尾張34.4%、西三河55.9%、東三河9.7%と、リーマンショック前と比較しても西三河の比重が更に高まっています。

こうした状況の理由としては、西三河地域が「自動車産業」の占める割合が非常に高いことが背景にあります。自動車産業は輸出型産業であるため、リーマンショック時には大きな影響を受けましたが、一般に「自動車産業」は日本の製造業の中でも国際競争において強い業種であり、その上、自動車部品製造は部品調達の面等において一地域に集積していることが比較的優位性もあることから、リーマンショック後の円高の時期にもいわゆる「産業空洞化」が比較的発生せず、景気回復とともに、日本経済を支える重要な柱である「自動車産業」の一大集積地としてますます発展していったものと推定されます。（表7）

表7 地域別 製造品出荷額等の推移（平成20～28年）

（単位：億円、％）

地域	年次	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
総	数	464,212 (100.0)	344,313 (100.0)	382,108 (100.0)	370,156 (100.0)	400,332 (100.0)	420,018 (100.0)	438,313 (100.0)	460,483 (100.0)	449,090 (100.0)
尾	張	172,318 (37.1)	135,077 (39.2)	143,454 (37.5)	145,742 (39.4)	146,277 (36.5)	149,428 (35.6)	157,489 (35.9)	159,815 (34.7)	154,343 (34.4)
西	三 河	237,385 (51.1)	172,964 (50.2)	198,628 (52.0)	187,104 (50.5)	212,209 (53.0)	226,915 (54.0)	234,054 (53.4)	253,587 (55.1)	251,056 (55.9)
東	三 河	54,508 (11.7)	36,273 (10.5)	40,026 (10.5)	37,310 (10.1)	41,846 (10.5)	43,676 (10.4)	46,770 (10.7)	47,081 (10.2)	43,690 (9.7)

資料 総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」（平成23・27年）、経済産業省「工業統計調査」（その他の年）

● 市町村別にみた愛知県工業の状況

市町村別に事業所数の多い市町村をみると、名古屋市（3,695 事業所）、豊田市（835 事業所）、一宮市（803 事業所）、豊橋市（737 事業所）、岡崎市（638 事業所）の順となっており、概ね事業所数は人口規模に応じています。

次に工業従業者数の多い市町村をみると、豊田市（114,528 人）、名古屋市（96,624 人）、刈谷市（48,578 人）、安城市（46,402 人）、岡崎市（43,892 人）の順となっており、自動車産業の盛んな西三河地域の市が多く入ってきます。

続いて製造品出荷額等の多い市町村をみると、豊田市（14兆2463億円）、名古屋市（3兆3636億円）、安城市（2兆1099億円）、岡崎市（2兆756億円）、田原市（1兆780億円）の順となっており、豊田市の数値が際立っています。豊田市は全国的にみても製造品出荷額等全国第1位で、第2位の横浜市の4倍近い数値となっており、都道府県と比較しても兵庫県に次いで全国第6位相当となります。

また、名古屋市も全国第7位の製造品出荷額等であり、安城市、岡崎市も20位以内に入るなど、西三河地域を中心に「自動車産業」の盛んな市町村が、上位の製造品出荷額等を示しています。

なお、付加価値額も豊田市が突出しており、上位市町村は概ね製造品出荷額等上位市町村と重なっています。（表8）

表8 事業所数、従業者数、製造品出荷額等、付加価値額の上位10市

順位	事業所 (29.6.1)			従業者数 (29.6.1)			製造品出荷額等 (28年中)			付加価値額 (28年中)		
	市名	(事業所)	構成比(%)	市名	(人)	構成比(%)	市名	(億円)	構成比(%)	市名	(億円)	構成比(%)
1	名古屋市	3,695	23.3	豊田市	114,528	13.8	豊田市	142,483	31.7	豊田市	36,484	28.1
2	豊田市	835	5.3	名古屋市	96,624	11.7	名古屋市	33,636	7.5	名古屋市	10,847	8.4
3	一宮市	803	5.1	刈谷市	48,578	5.9	安城市	21,099	4.7	安城市	6,933	5.3
4	豊橋市	737	4.6	安城市	46,402	5.6	岡崎市	20,756	4.6	田原市	6,238	4.8
5	岡崎市	687	4.3	岡崎市	43,892	5.3	田原市	17,850	4.0	西尾市	5,189	4.0
6	春日井市	638	4.0	西尾市	36,532	4.4	刈谷市	16,006	3.6	岡崎市	4,799	3.7
7	小牧市	602	3.8	小牧市	35,455	4.3	西尾市	15,088	3.4	豊橋市	4,334	3.3
8	西尾市	574	3.6	豊橋市	33,200	4.0	小牧市	14,029	3.1	みよし市	4,121	3.2
9	豊川市	488	3.1	春日井市	24,574	3.0	東海市	12,800	2.9	小牧市	3,728	2.9
10	安城市	469	3.0	豊川市	24,473	3.0	豊橋市	12,453	2.8	刈谷市	3,390	2.6

資料 経済産業省「工業統計調査」

● 産業中分類別にみた市町村の工業

前項でみた市町村別の製造業の特徴を探るため、製造品出荷額等の上位10市（尾張地域3市、西三河地域5市、東三河地域2市）について、産業中分類別の構成比をみると、まず名古屋市は輸送機械（14.3%）、電気機械（13.7%）、食料品（8.6%）、鉄鋼（8.4%）、業務用機械（8.3%）の順で、各業種が均衡しています。

表9 市町村別・産業中分類別 製造品出荷額等（平成28年）

（単位：万円、%）

市町村 産業中分類	愛知県	尾張地域			西三河地域					東三河地域	
	総数	名古屋市	小牧市	東海市	岡崎市	刈谷市	豊田市	安城市	西尾市	豊橋市	田原市
総数	4,490,900,034 (100.0)	336,355,442 (100.0)	140,293,862 (100.0)	127,998,908 (100.0)	207,563,671 (100.0)	160,056,409 (100.0)	1,424,627,242 (100.0)	210,988,867 (100.0)	150,883,621 (100.0)	124,534,959 (100.0)	178,497,303 (100.0)
食料品	164,067,280 (3.7)	28,840,846 (8.6)	7,132,827 (100.0)	1,529,555 (1.2)	3,385,248 (100.0)	2,780,420 (100.0)	5,293,386 (100.0)	11,495,372 (100.0)	2,325,479 (100.0)	11,865,826 (100.0)	734,023 (100.0)
飲料・飼料	45,851,192 (1.0)	11,183,142 (3.3)	1,238,862 (5.1)	X (-)	2,585,472 (100.0)	- (-)	45,890 (100.0)	223,566 (100.0)	1,180,005 (100.0)	2,226,667 (100.0)	45,440 (100.0)
繊維	36,713,973 (0.8)	2,877,656 (0.9)	99,827 (0.1)	59,347 (0.0)	5,864,966 (100.0)	47,871 (100.0)	2,651,025 (100.0)	881,185 (100.0)	1,730,414 (100.0)	3,887,621 (100.0)	156,385 (100.0)
木材・木製品	14,325,748 (0.3)	1,951,279 (0.6)	239,205 (0.2)	- (-)	345,084 (100.0)	- (-)	462,541 (100.0)	X (-)	26,236 (100.0)	1,645,873 (100.0)	- (-)
家具・装備品	14,264,356 (0.3)	2,211,017 (0.7)	1,075,159 (0.8)	22,377 (0.0)	408,637 (100.0)	194,480 (100.0)	107,038 (100.0)	768,442 (100.0)	68,184 (100.0)	729,434 (100.0)	X (-)
パルプ・紙	42,814,265 (1.0)	2,643,599 (0.8)	4,986,465 (3.6)	- (-)	509,275 (100.0)	287,359 (100.0)	355,129 (100.0)	2,103,137 (100.0)	314,025 (100.0)	3,760,009 (100.0)	85,375 (100.0)
印刷	33,287,156 (0.7)	15,486,637 (4.6)	1,241,671 (0.9)	X (-)	472,221 (100.0)	1,600,414 (100.0)	687,781 (100.0)	590,007 (100.0)	459,771 (100.0)	989,697 (100.0)	X (-)
化学	119,104,048 (2.7)	18,873,190 (5.6)	4,903,302 (3.5)	13,998,572 (10.9)	1,543,306 (100.0)	1,512,264 (100.0)	709,748 (100.0)	295,114 (100.0)	- (-)	8,551,058 (100.0)	X (-)
石油・石炭	62,568,221 (1.4)	748,506 (0.2)	X (-)	X (-)	X (-)	X (-)	1,331,175 (100.0)	- (-)	X (-)	X (-)	- (-)
プラスチック	153,841,968 (3.4)	12,077,593 (3.6)	7,429,126 (5.3)	3,016,776 (2.4)	6,074,262 (100.0)	4,126,778 (100.0)	18,032,700 (100.0)	7,772,827 (100.0)	3,548,908 (100.0)	14,631,971 (11.7)	344,441 (100.0)
ゴム製品	41,397,220 (0.9)	1,908,238 (0.6)	12,175,360 (8.7)	83,916 (0.1)	X (100.0)	187,232 (100.0)	7,741,092 (100.0)	255,617 (100.0)	23,098 (100.0)	179,080 (100.0)	X (-)
皮革製品	1,357,705 (0.0)	230,501 (0.1)	X (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	X (-)	- (-)
窯業・土石	79,606,111 (1.8)	16,340,298 (4.9)	5,958,651 (4.2)	1,885,551 (1.5)	1,074,325 (100.0)	749,707 (100.0)	2,957,696 (100.0)	612,150 (100.0)	928,632 (100.0)	2,064,834 (100.0)	X (-)
鉄鋼	203,954,193 (4.5)	28,257,616 (8.4)	1,106,786 (0.8)	97,190,931 (75.9)	2,066,841 (100.0)	3,489,271 (100.0)	2,698,402 (100.0)	3,393,577 (100.0)	3,947,582 (100.0)	8,647,471 (100.0)	2,969,812 (100.0)
非鉄金属	52,924,923 (1.2)	16,611,031 (4.9)	499,906 (0.4)	X (-)	727,826 (100.0)	X (-)	2,868,973 (100.0)	3,067,279 (100.0)	2,632,639 (100.0)	3,276,808 (100.0)	X (-)
金属製品	149,912,004 (3.3)	20,543,562 (6.1)	6,538,896 (4.7)	1,832,379 (1.4)	2,444,389 (100.0)	7,435,636 (100.0)	9,123,130 (100.0)	1,671,043 (100.0)	3,434,466 (100.0)	4,464,461 (100.0)	1,894,200 (100.0)
はん用機械	119,527,938 (2.7)	5,623,921 (1.7)	2,007,635 (1.4)	373,802 (0.3)	6,592,253 (100.0)	23,442,606 (100.0)	4,150,598 (100.0)	7,403,812 (100.0)	310,961 (100.0)	1,702,929 (100.0)	X (-)
生産用機械	208,316,851 (4.6)	24,475,438 (7.3)	9,136,740 (6.5)	501,202 (0.4)	37,388,992 (100.0)	13,109,304 (100.0)	11,180,167 (100.0)	5,191,898 (100.0)	9,190,147 (100.0)	4,472,739 (100.0)	123,157 (100.0)
業務用機械	112,387,293 (2.5)	27,759,234 (8.3)	20,227,162 (14.4)	X (-)	3,142,274 (100.0)	X (-)	47,034 (100.0)	1,264,264 (100.0)	X (-)	1,439,458 (100.0)	- (-)
電子部品	60,971,494 (1.4)	826,994 (0.2)	3,916,467 (2.8)	- (-)	X (-)	- (-)	1,361,254 (100.0)	X (-)	- (-)	153,398 (100.0)	- (-)
電気機械	210,078,946 (4.7)	46,140,291 (13.7)	34,383,485 (24.5)	X (-)	9,549,111 (100.0)	1,996,208 (100.0)	3,397,655 (100.0)	38,160,056 (100.0)	1,477,398 (100.0)	11,595,561 (9.3)	X (-)
情報通信機械	12,898,536 (0.3)	1,179,770 (0.4)	- (-)	- (-)	X (-)	- (-)	4,286,154 (100.0)	X (-)	- (-)	X (-)	- (-)
輸送機械	2,520,248,876 (56.1)	48,082,678 (14.3)	15,687,603 (11.2)	2,381,306 (1.9)	121,802,553 (58.7)	98,027,916 (61.2)	1,339,263,552 (94.0)	125,253,881 (59.4)	118,613,381 (78.6)	33,271,266 (26.7)	170,440,087 (95.5)
その他	30,479,737 (0.7)	1,482,405 (0.4)	91,337 (0.0)	31,803 (0.0)	1,307,885 (100.0)	132,097 (100.0)	5,875,122 (100.0)	123,379 (100.0)	179,866 (100.0)	4,002,005 (100.0)	X (-)

注) Xは対象事業所数が少数のため、秘匿とされた数値。

資料 経済産業省「工業統計調査」

尾張内陸部を代表する小牧市は、電気機械（24.5%）、業務用機械（14.4%）、輸送機械（11.3%）と、電気機械が約4分の1を占めている一方、尾張臨海部に位置する東海市では、鉄鋼（75.9%）、化学（10.9%）の占める割合が高く、輸送機械（1.9%）の割合はかなり低くなっています。

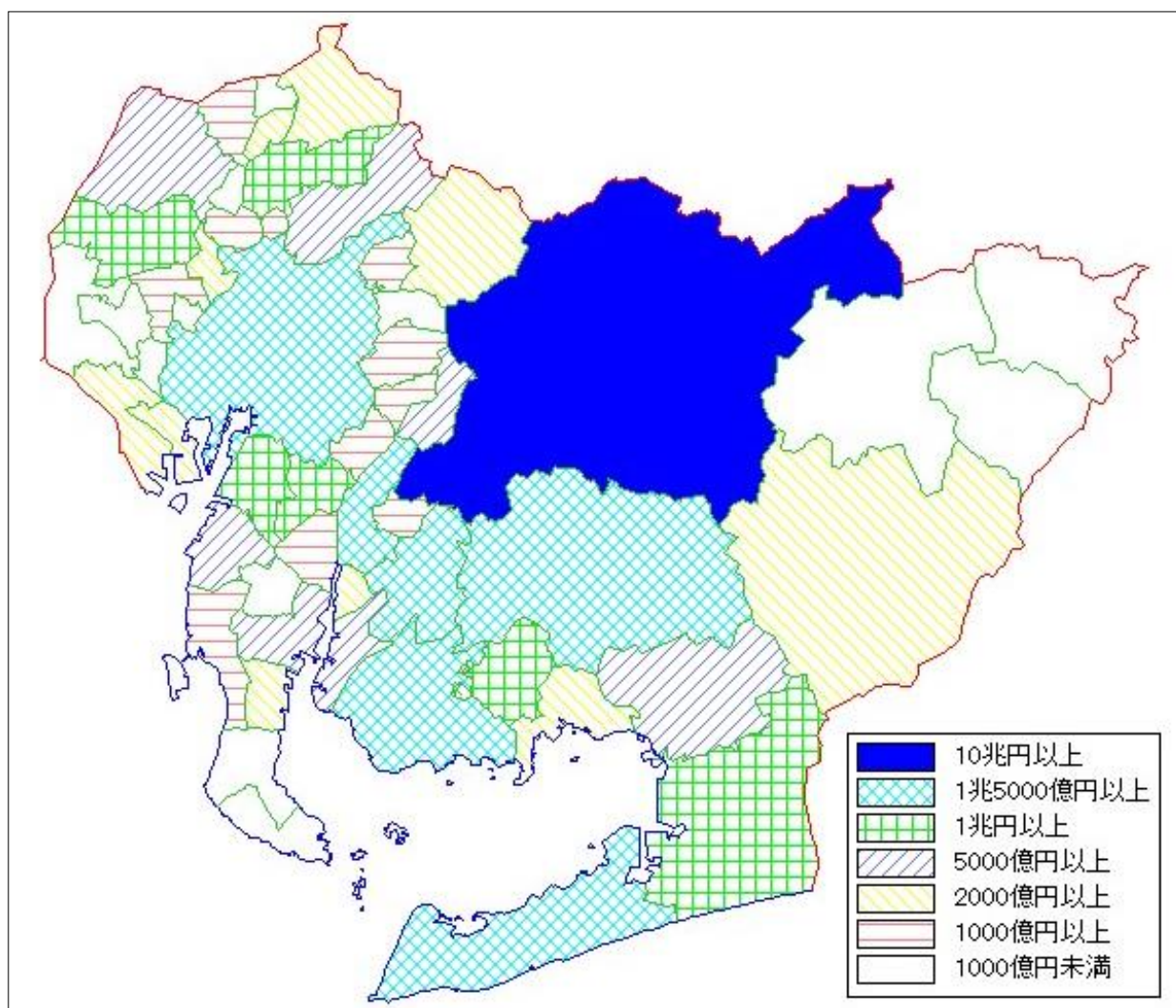
このように尾張地域は、名古屋市内、尾張内陸部、尾張臨海部で業種は異なるものの、輸送機械については県平均（56.1%）を大きく下回ることが共通した傾向となっています。

これに対して西三河地域（岡崎市、刈谷市、豊田市、安城市、西尾市）は輸送機械が代表的な業種となっており、その構成割合は豊田市の94.0%から岡崎市の58.7%まで差はあるものの、いずれも県平均を上回っています。

とりわけ豊田市の輸送機械出荷額等は13兆3926億円と、全国（65兆1409億円）の20.6%を占める「車の町」となっています。

東三河地域では、豊橋市の輸送機械の構成割合が26.7%と、尾張より高いものの、西三河に比べ多様な業種が展開されていますが、田原市の輸送機械の構成割合は95.5%と、豊田市よりも高くなっています。一般に臨海部では埋立地に大規模な事業所が立地するため、進出した事業所の業種の違いにより、東海市と田原市では構成割合も大きく異なっています。（表9）

図7 市町村別製造品出荷額等 愛知県地図（平成28年）



注) 「1000億円未満」には事業所数が少ないため数値が秘匿となっている市町村を含む。

資料 経済産業省「工業統計調査」

愛知県内市町村の製造品出荷額等を市町村地図でみると、名古屋市及びその近郊には製造業の盛んな市町村の一群がみられますが、それらの市町村は大きく集中することなく存在しています。

尾張地域は都市化した地域であるため、住宅地が多く人口の集中した市町村と、工業の盛んな市町村がまだら模様で混在している状況です。

その一方で西三河をはじめとした三河地域は、豊田市を中心に製造品出荷額等が極めて大きい市町村がほぼ南方に向かって集中的に広がっています。その規模は尾張地域に比べてもかなり大きく、いずれの市町村も輸送機械を中心とした業種構成になっていることが特徴です。

愛知県の製造業は、一般に「自動車産業」中心であるといわれますが、このように製造品出荷額等の市町村分布をみると、他業種が輸送機械に転換してしまっただけではなく、従来からの名古屋市を中心とした製造業の分布はそのままに存在しています。

その上で、その東方の豊田市を中心とした地域に、より広範で製造品出荷額等の多い「自動車産業」を中心とした製造業が新たに分布している状況がみてとれます。

このため愛知県は、山間部や半島先端部等を除いて広く製造業の盛んな市町村が広がっており、県全体の製造品出荷額等も他の都道府県をはるかに凌駕する状況を作り出しています（図7）。

● 地域別・市町村別にみた課題とその展望

尾張地域は、突出した産業こそありませんが、比較的多様な業種がバランス良く発達した地域であり、全国的にみれば製造業の盛んな地域でもあります。

こうした中で、愛知県の将来の主要産業となりうる「航空機産業」や「ロボット産業」等の先端産業も尾張地域を中心として進展していくものと想定され、これらの次世代型産業や、更には新たなスタート・アップ企業の育成を支援していくことが、尾張地域の製造業の大きな課題と考えられます。

西三河地域は、既に「自動車産業」を中心に日本一の製造業の集積地となっていますが、「自動車産業」は前述したとおり大きな技術革新の最中にあり、こうした変革を乗り越え、更なる発展を遂げることができるかが、最大の課題となっています。また、西三河地域の製造業従事者は男性が多く、このため、平成27年国勢調査における人口性比(女100人に対する男の比率)をみても、みよし市、豊田市、刈谷市が110を超えるなど、男性の割合が極めて高い地域となっています。働き方改革において、女性労働の活用が強く求められる中で、「自動車産業」の技術革新に併せて女性が働きやすい環境を整備することが、今後の製造業の従業者確保にもなり、地域における女性人口の増加にもつながっていくものと考えられます。

東三河地域は、人口減少対策が大きな課題となっていますが、一般に優れた産業対策が最も良い人口対策になると考えられ、その中で「自動車産業」等で全国的にも強い東三河の製造業を維持・発展させていくことが、人口問題にもより良い効果をもたらすものと考えられます。

その方策の一つとして、特に三河地域では、既に多くの外国人労働者が製造業に従事していますが、今後、改正出入国管理法の施行とともに、更に外国人労働者は増加するものと考えられるため、県や市町村においても、「多文化共生社会」の実現に更なる対応を図ることが、製造業の人手不足対策になるとともに、地域の課題にも答える方策となるものと考えられます。